



8月1日は「水の日」、8月1～7日は「水の週間」です

問合せ 市上下水道部経営企画課 (☎43-2169)

水の日、水の週間とは

暑い夏は水の使用量が多く、全国各地で渇水などの水不足が生じ、水について関心が高まることから8月の初日である8月1日を「水の日」、この日を初日とする1週間を「水の週間」とすることが国により定められています。

この期間中、全国各地で水は限られた貴重な資源であることなどを皆さんに伝えるため、ポスターによる啓発やイベント開催などの行事を実施しています。水への関心が高まるこの時期に、普段から当たり前のように使っている水はとて貴重であることを改めて考えてみませんか。

※14 (平成26) 年に施行された水循環基本法において、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深める日として、8月1日を「水の日」とすると定められました。



地球上の水は、常に同じ場所に留まっているわけではありません。

川や海の水は水蒸気となって空に昇り、雲となります。やがて雨や雪となって地上に降り、川を流れて海に至ります。その途中、川や地下水などから取水し、浄水場できれいにした水を水道水として供給しています。

各家庭で使用され汚れた水は、下水処理場できれいに処理され、川や海へと戻されます。このサイクルを水循環といいます。

●海の水は水蒸気となって空へ昇り、雲になる

●下水処理場できれいになった水は川や海へ

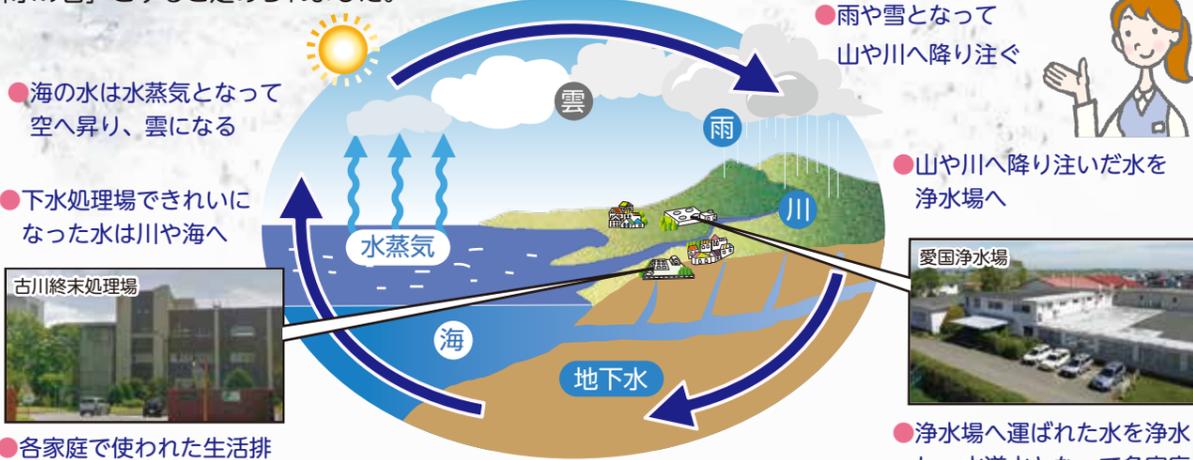
●各家庭で使われた生活排水は下水処理場へ

●雨や雪となって山や川へ降り注ぐ

●山や川へ降り注いだ水を浄水場へ

愛国浄水場

●浄水場へ運ばれた水を浄水し、水道水となって各家庭へ



汚れた水をきれいにするには?

1人が1日に使う水の量は300L以上といわれています。台所やトイレ、風呂洗濯などで使った水を生活排水といい、これは下水処理場で処理され、きれいになった水を川や海へ戻しています。もし、下水処理場がなかったらどうなるでしょうか。

例えば、フライパンに残った天ぷら油をそのまま川に流した場合、これを魚がすめる水質にするには浴そう (300L) 20杯分の水が必要です。

下水道で処理する場合にも、油などは下水道施設にとって大きな負荷となり、処理費用の増大を招くこととなります。

●汚れた水をそのまま流した場合、魚が住める水質にするには浴そう (300L) 何杯分の水が必要でしょうか。

<p>浴そうを300Lとして…</p>	<p>●天ぷら油 20mL 浴そう × 20 杯</p>	<p>●牛乳 コップ1杯200mL 浴そう × 11 杯</p>
<p>●じゃがいもの味噌汁 1杯 180mL 浴そう × 4.7 杯</p>	<p>●ビール コップ1杯 180mL 浴そう × 10 杯</p>	<p>●米のとぎ汁 1回目 500mL 浴そう × 4 杯</p>

水循環を守るために私たちのできること

水循環のサイクルの中で、下水道は大きな役割を担っています。下水道に油類やオムツなどの異物を流すと、下水道管の詰まりや、下水処理設備の故障の原因になるなど、下水道施設への負荷が大きくなる場合があります。そこで今回は、下水道、さらには水循環を守るために、私たちのできることをいくつか紹介します。

<p>台所では</p> <p>料理に必要な分だけ作って残さず食べよう</p>	<p>油などは、流しに流さず、新聞紙などに吸わせて捨てよう</p>	<p>生ごみは肥料として活用する</p>
<p>米のとぎ汁は植木や庭にまこう</p>	<p>水切り袋を活用して、生ごみを流さない</p>	<p>汚れた食器は、いらぬ紙で拭き取ってから洗う</p>

洗濯では

洗濯には、お風呂の残り湯を使う

洗剤は必要な量だけ使う

お風呂では

シャンプーやリンスは、使い過ぎに注意する

皆さんも水循環を守るために、ご協力をお願いします。

「水の週間キャンペーン」の開催について

水の週間に併せて、水循環を支える当市上下水道事業について、皆さんに関心を持っていただくため、「くしろ港まつり」会場で、「水の週間キャンペーン」を開催します。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベント内容を変更または、中止する場合があります。

日時 8月6日(土) 午前10時～午後3時
場所 耐震・旅客船ターミナル
問合せ 市上下水道部経営企画課 (☎43-2169)

給水車、高圧洗浄車 展示



●マンホールカード配布!!

会場内に特別配布場所を設置します!今回は特別に、阿寒湖畔で配布しているカードと姉妹都市である鳥取市のカードも配布します。

